

CEC速度型振動変換器の取扱方法

1. 振動変換器は、精密な機器ですので、十分注意してお取扱下さい。落下等の衝撃を加えないで下さい。常温で、湿気が多く無く、強電磁場の無いところで保管して下さい。
2. 振動変換器の底部及びマウンティングブラケットの表面は、ギザギザやかき傷のない平面で、清浄であるようにして下さい。
3. マウンティングブラケットは、エンジン、タービン、発電機、減速機、等の回転機器のフランジ等に、ボルトで確実に固定して下さい。そして、振動変換器マウンティング面を回転機器の中心に垂直に置いて下さい。
4. マウンティングブラケットは、振動変換器に横揺れを生じさせ無いような形状にして下さい。4-131シリーズの振動変換器を使用の場合には、交差(クロス)軸加速度は、連続使用で2Gを超えないで下さい。
5. 磁力の影響及び振動の吸収を防ぐためにマウンティングブラケットは、ステンレス鋼(ANSI 314~318)を使用して下さい。高感度の4-128シリーズ振動変換器を使用の場合には必ず、ステンレス鋼(ANSI 314~318)を使用して下さい。この時、ネジ類もステンレス鋼を使用して下さい。
6. 振動変換器は、マウンティングブラケットに全てネジで、確実に止めて下さい。
7. 振動変換器のレセプタクルに、ケーブルアッセンブリーのコネクタを確実に、ネジ込み、しっかりと固定して下さい(6~8フィートポンドトルク)。又、コネクタが振動でゆるまない様に、安全のためにケーブルのコネクタを振動変換器にステンレスワイヤーで止めて下さい。(コネクタの穴と振動変換器のタブあるいはボルトの穴にあるいは穴付けの取り付けボルトの穴にワイヤーを通して下さい)
8. CEC速度型振動変換器は、低インピーダンス信号であるため、ケーブルの曲がりは、問題ではありません。
9. CEC速度型振動変換器と振動計(シグナルコンディショナー)間のケーブル長さは、余り問題ではありません。実際90mでの使用例もあります。
10. ケーブル、配管、ホース、ホイストチェーン等が、振動変換器を使用中に接触しないようにして下さい。
11. 振動変換器、ケーブル及びコネクタは相対的に、湿気には影響を受けにくいですが、水に浸したり、湿気の非常に多いところに曝らさないようにして下さい。
12. 高い電気ノイズを生じる電気機器にケーブルを近づけないで下さい。
13. たいていの振動変換器には、定義レンジ以上の帯域の出力があります。このため関心のある周波数帯域でのメータの読みを歪ませないために、ハイパス、ローパス、バンドパスフィルターを適当に使用して下さい。
14. 速度型振動変換器の動作点検のために、振動変換器をハンマー等で叩いたりしないでください。手に持ち感度方向に少しふるわせることで出力を確認できます。
15. 速度型振動変換器の感度は、負荷抵抗により異なります。ご使用の変換器に適当な負荷抵抗をご使用下さい。

2010/08/13

CEC Vibration Products 社 日本総代理店
株式会社パシフィックテクノロジー
〒273-0005
千葉県船橋市本町6丁目18番5号アサヒ船橋ビル602
TEL:047(426)1650 FAX:047(426)1652
E-mail: sales@pac-tech.com URL: <http://www.pac-tech.com>